

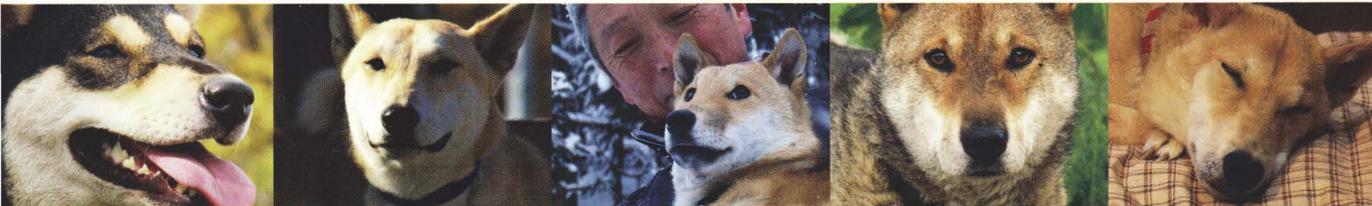
人は犬を愛し、犬は人を愛する。  
「縄文犬」のゆめものがたり



## 縄文犬のゆめ

縄文の「いのち」の記憶を生きるシバ犬と、犬を愛する人々が織りなす愛情物語。  
まるでファンタジーのようなヒューマンドキュメンタリー。

〈ドキュメンタリー映画〉伊勢 真一 演出作品



# シバ

縄文犬のゆめ



「ウ〜…ワン！」

「頼まれたことは出来るだけ断らない…」を仕事上の信条にして、ドキュメンタリーのナリワイを生きて来た私に、「柴犬」を映画にしてみない？と声をかけて来たのは、小学生の時の同級生だった。自分が惚れ込み飼っている「柴犬」が、我が作風にマッチすると思ったのでしょうか？

数年前から熱心にプロポーズされていた私が、「やってみるか」と思い立ち、クランクインしたのは、2011年の3月、あの東日本大震災の直後でした。

「柴犬」と言えば、タヌキ顔でCMにも登場して人気者の犬と思われがちですが、私達の映画の主人公は、キツネ顔・オオカミ顔の世間的には馴染みの薄い、少数派の「柴犬」です。映画の中心人物の一人、天然記念物 柴犬保存会 会長・照井光夫さんと私は、ほぼ同世代。ゼロから「柴犬」の世界に導いてくれ、私達スタッフはすっかり、キツネ顔・オオカミ顔「柴犬」ファンになってしまいました。

何が可愛いって…映画を観てもらえれば、その魅力は充分にわかるはずですよ。

照井さんは、十代後半から「柴犬」の虜になってしまい、今では30頭近い犬と共に日々を過ごしています。

柴犬保存会の創立者である中城龍雄氏の弟子を自認する照井さんは、縄文時代に私達の先祖が狩りの戦友として暮らしを共にしていた日本犬を理想とし、仲間達と「柴犬」をその理想に戻す保存活動を半世紀に渡り、夢中になって取り組んで来ました。「縄文犬のゆめ」を追って来たのです。

本当は「柴犬」諸君にインタビューして、彼等彼女等の中に生きていない縄文の記憶について聞きたいことが一杯あったのですが、カメラとマイクを持った怪しい奴等に心を救すほど、「柴犬」はヤワではないので、照井さんをはじめ愛好者たちに色々聞いて回りました。

誰もが口を揃えて「とにかく、私のことを愛してくれる」「言葉だけでなく、心もワカッてくれる」「どんな敵とも、勇敢に闘う」「強く、そして優しい」「絶対に裏切らない」と、ベタ褒めだった。「犬の面倒を見ている、というより、犬が私達を見守ってくれているようだ」とも言っていた。

照井さんが「私達の柴犬は、全く少数派です。でもたとえ少数でも、縄文時代に生きた犬、日本犬の祖先に近い純粋な柴犬を、私達が守り続けなければ…」と思いの丈を語ってくれた時、決してメジャーとは言えない、ドキュメンタリーのナリワイを生きて来た私の少数派魂に火が着いたのです。

縄文の昔から、私達人間はどれほどの進歩をしたのでしょうか…。

縄文の記憶を秘める犬達が、じっと私達を見据え「ウ〜」「ワン！」「ワン！ワン!!」と吠え続けている。

我等が「柴犬」たちに寄り添い撮影したヒューマンドキュメンタリー『シバ 縄文犬のゆめ』

犬たちの記憶に触れ、私たち自身の記憶を呼び覚ます物語に、思いを巡らせてもらえたら嬉しい。

「ウ〜…ワン!!」 伊勢真一（演出）



## 伊勢 真一 (いせ しんいち)

ドキュメンタリー映像作家。  
1949年東京都生まれ。「奈緒ちゃん」「ありがと」「えんとこ」をはじめ、多くのヒューマンドキュメンタリーを製作。近年は若手の作品プロデュースも積極的に行っている。「風のかたち」文化庁映画賞・カトリック映画賞、「大丈夫」2011年度キネマ旬報文化映画第1位、「傍（かたわら）」2012年度キネマ旬報文化映画第6位。日本映画ペンクラブ功労賞受賞。

## 出演…柴犬たち

照井光夫、孝子  
後藤明彦、恵美子  
石田健一  
二木清  
宮崎学  
八田博子  
小竹良一  
柳沢和子  
高梨榮子  
齊藤武治、イヨ子  
高橋学  
[天然記念物  
柴犬保存会]の皆さん

## 撮影……………田辺司

録音・音響構成……………渡辺文彦  
照明……………工藤和雄  
録音……………世良隆浩  
……………永峯康弘  
編集技術……………尾尻弘一  
整音助手……………井上久美子  
音楽……………横内丙午  
チェロ演奏……………白神あき絵  
主題曲……………「ゆりかご」  
題字……………後藤琢也  
宣伝デザイン……………森岡寛貴  
(ジオングラフィック)  
制作・上映デスク……………加藤郁美  
……………増馬則子

## 協力……………天然記念物 柴犬保存会

松野どうぶつ病院  
東北歴史博物館  
MOCプロジェクト  
特別協力……………中城龍雄  
……………八田幸次郎  
……………八田アサ  
……………三澤清芳  
企画……………八田博子  
監修……………照井光夫  
製作協力……………ヒボコミュニケーションズ  
……………一隅社  
製作……………いせフィルム  
演出……………伊勢真一



お問合せ いせフィルム www.isefilm.com

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-7 青山N-ブリックビル3階  
TEL:03-3406-9455 FAX:03-3406-9460 E-mail:ise-film@rio.odn.ne.jp

とき: 11月12日(水)午後7時 小金井雑学大学特別企画  
ところ: 小金井市民交流センター 小ホール  
料金: 1500円(小学生以下無料。但し保護者同伴)

問合せ: 小金井雑学大学事務局 田中 ( )